

秋田焼山の火山活動解説資料（平成 23 年 3 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降山頂の南西 5～10km 付近を震源とする地震回数が平常時より若干多い状況となっています。

東北地方整備局の監視カメラでは噴気活動は低調で、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

東北地方整備局が山頂の西約 2 km に設置してある焼山監視カメラでは、湯沼および叫沢源頭部の噴気の高さは 30m 以下で、噴気活動は低調な状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 4）

2011 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降山頂の南西 5～10km 付近を震源とする地震回数が平常時より若干多い状況となっています。なお、噴気の状態や空振計および地殻変動データに特段の変化は認められません。

火山性微動は観測されませんでした。

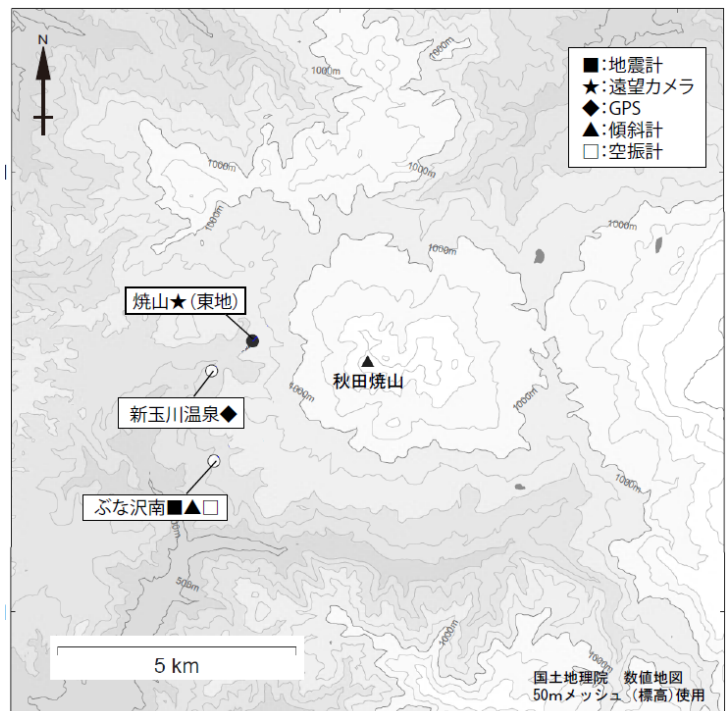


図 1 秋田焼山 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。

小さな黒丸は他機関の観測点位置を示しています。）

（東地）：東北地方整備局

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 4 月分）は平成 23 年 5 月 10 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、国土交通省東北地方整備局のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。



図 2※ 秋田焼山 叫沢源頭部の噴気の状態（2011 年 3 月 22 日 09 時 05 分頃）

山頂の西約 2 km に設置してある焼山監視カメラ（東北地方整備局）による。

赤丸実線で囲んだのが、叫沢源頭部の白色噴気で高さ 30m。

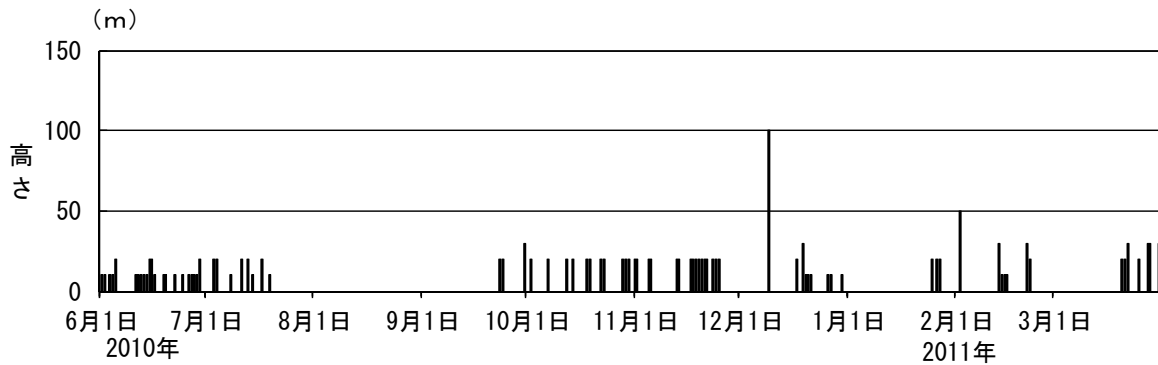


図 3※ 秋田焼山 日別最大噴気の高さ（2010 年 6 月～2011 年 3 月）

2010 年 6 月 1 日から焼山監視カメラ（東北地方整備局）により観測開始。

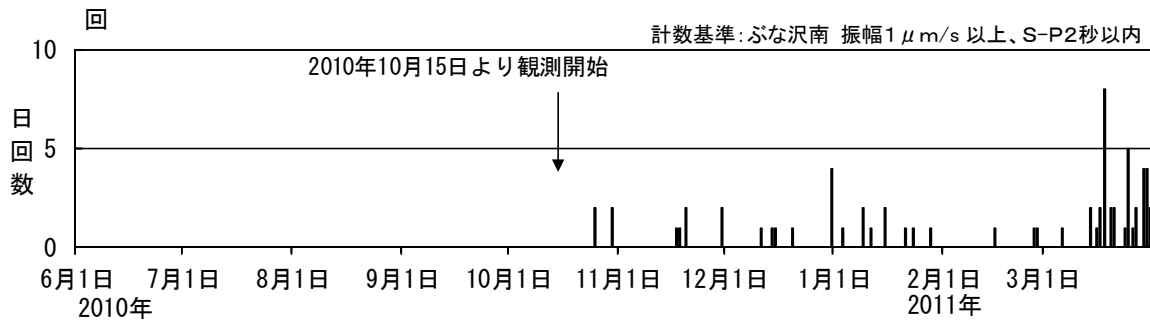


図 4 秋田焼山 火山性地震の日別回数（2010 年 10 月～2011 年 3 月）

2010 年 10 月 15 日から観測開始。